



カンゾウ

本県の中山間地に広く自生するユリ科の多年草です。春は山菜として、夏は花を楽しめる、強健で繁殖力が強い植物です。ヤブカンゾウは6月下旬から7月下旬にかけて、オレンジ黄色の八重の花を咲かせます。

増殖は株分けで行いますが、組織培養で大量に苗を作る技術が開発できました。植え付けは年中いつでも可能です。



山菜としては、春の新芽をゆでて酢味噌あえにすると美味しいです。冬期の「芽かんぞう」は縁起物の食材として使われます。また花を天ぷらや佃煮にしてもおいしいです。

←市場に出荷されたカンゾウの若芽

定植して4年目頃には地面を覆うので雑草も生えにくく粗放的に管理できます。

組織培養した苗を棚田に定植して2年目の状態(穴吹町)→



	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
露地	・・・随時株分け定植・・・ (花は定植2年目以降, 収穫は3年以降)											
芽かんぞう	□□□□□□□□□□□□□□											
若葉	□□□											
開花	☆☆☆☆											

- 土地の選定：保水，排水ともに良好な陽地（ノカンゾウは半日陰地）
- 定植：株分けで年中いつでも植え付け可能。株間 30cm に植え付ける。
- 肥料：a 当り有機質主体に各成分 1～2kg を施す。
- 管理：植え付け直後は敷きわら等で乾燥及び雑草防止に努める。
- 収穫：芽かんぞうは株を掘り取り，芽を削って調整する。小さい芽は繁殖用に回す。
若葉は露地で2～3月が収穫期となる。ナイフで地中から切り取る。
- 観賞：6月下旬から8月上旬まで開花，見頃は7月上中旬。

問い合わせ先

徳島県立農林水産総合技術支援センター 農業研究所 中山間担当
 TEL (0883) 72-0239 FAX (0883) 72-6868
<http://www.green.pref.tokushima.jp/nogyo>